

Q Report 2/4

第70期第2四半期(中間)報告書
(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

TOMITA

SINCE 1911

証券コード：8147



株 式 会 社



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととご推察申し上げますとともに、平素のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

平成29年3月期第2四半期を終了いたしましたのでここに営業の概況ならびに第2四半期決算の状況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の政策に助けられ緩やかな景気回復傾向であったものの、海外経済の減速や円高の影響から力強さに欠ける展開が続きました。

わが国の工作機械業界は、当第2四半期連結累計期間は、国内で需要が減少し前年同期比15.3%減少、海外でも需要が減少し前年同期比20.4%減少、結果、国内外全体の受注額は18.2%減少し6,179億円となりました。

こうした環境下、工作機械を主力取扱い商品とする当社グループの受注・売上につきましては国内では減少しましたが、海外では北米及びアジアを主因として増加し、国内外全体では若干の増加となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は109億8百万円（前年同期比1.4%増）となりましたが、円高の影響等により、営業利益は4億1千6百万円（同29.2%減）、経常利益は4億9千5百万円（同20.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億5百万円（同25.5%減）となりました。

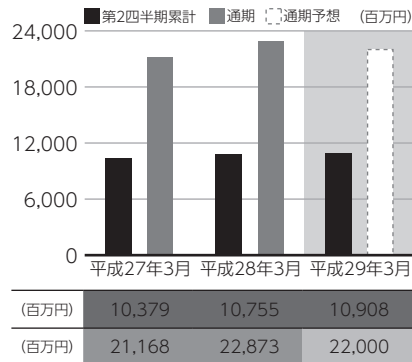
わが国経済は、緩やかな回復が続いておりますが、円高による景気の足踏み状態や設備投資への様子見姿勢など懸念材料もあります。海外では、米国経済や欧州経済は緩やかな景気回復が続くと予想されますが、中国経済の成長鈍化の影響など、景気への懸念材料もあります。当社グループは国内においては地域密着型営業の徹底、ユーザーの技術部門等への提案営業及び新規設備投資が活発な業界へのアプローチ強化を引き続き行ってまいります。海外においては、昨年2箇所目の拠点を増設したメキシコ及び中国・インドでの営業を更に拡大し、日本の製造業の海外生産活動へのサポートを強化し、今後も海外拠点の活動を拡充してまいります。また、海外の地場エンジニアリング会社とタイアップしてのライン等のシステム提供を含め、取扱製品、提案、サービスをより高度なものへと進化させ、グローバルに高度化かつ多様化するお客様のニーズにお応えしてまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご指導を賜りたく衷心よりお願い申し上げます。

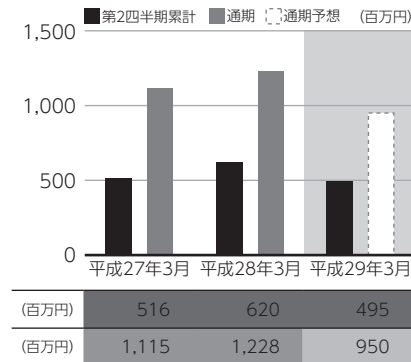


取締役社長 富田 薫

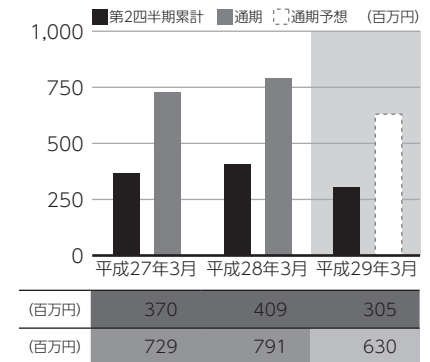
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



■連結貸借対照表（要旨）

(百万円)

科 目	当第2四半期 (平成29年3月期 第2四半期末)	前期 (平成28年3月期末)
資産の部		
流動資産	9,882	10,271
固定資産	3,495	3,422
有形固定資産	1,099	1,107
無形固定資産	18	24
投資その他の資産	2,377	2,290
資産合計	13,378	13,693
負債の部		
流動負債	5,443	5,734
固定負債	995	867
負債合計	6,438	6,602
純資産の部		
株主資本	5,952	5,813
その他の包括利益累計額	854	1,135
非支配株主持分	132	142
純資産合計	6,939	7,091
負債純資産合計	13,378	13,693

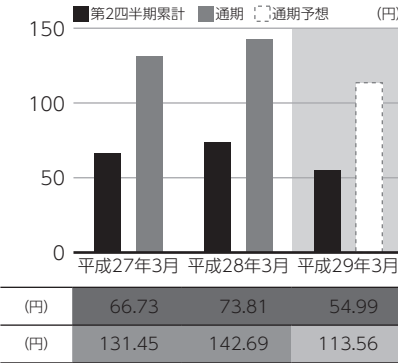
■連結損益計算書（要旨）

(百万円)

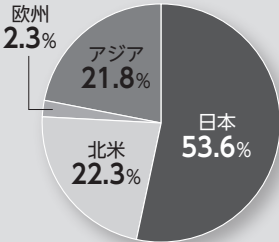
科 目	当第2四半期 (平成29年3月期 第2四半期/累計)	前第2四半期 (平成28年3月期 第2四半期/累計)	前期 (平成28年3月期)
売上高	10,908	10,755	22,873
売上原価	9,246	8,971	19,118
売上総利益	1,661	1,783	3,755
販売費及び一般管理費	1,245	1,195	2,564
営業利益	416	587	1,190
営業外収益	99	72	146
営業外費用	20	39	108
経常利益	495	620	1,228
特別利益	1	1	2
特別損失	0	—	—
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	496	621	1,230
法人税、住民税及び事業税	164	195	444
法人税等調整額	14	21	△2
四半期(当期) 純利益	317	404	789
非支配株主に帰属する 四半期(当期) 純利益	12	△4	△2
親会社株主に帰属する 四半期(当期) 純利益	305	409	791

(注) △印は、損失を示しています。

■1株当たり四半期(当期) 純利益



平成29年3月期第2四半期 地域別売上構成



＜日本＞
 工作機械の受注・売上が減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は58億5千万円(前年同期比16.8%減)となり、営業利益は2億4千3百万円(同20.2%減)となりました。

＜北米＞
 自動車メーカー関係向けの受注・売上が増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は24億3千万円(前年同期比18.4%増)となりましたが、営業利益は1億5千4百万円(同11.9%減)となりました。

＜欧州＞
 自動車メーカー向けの受注・売上が減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は2億4千7百万円(前年同期比22.4%減)となり、営業利益は5百万円(同82.2%減)となりました。

＜アジア＞
 自動車・2輪車メーカー関係向けの受注・売上が回復し、当第2四半期連結累計期間の売上高は23億7千9百万円(前年同期比75.5%増)となり、営業利益は3千8百万円(同24.3%増)となりました。

■株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
株主配当受領 3月31日（中間配当を行う場合9月30日）
株主確定日
定時株主総会 6月中に開催
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
（郵便物送付先） 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
（お問い合わせ先） 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031（フリーダイヤル）
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店
で行っております。
単元株式数 100株
公告の方法 ホームページに掲載いたします。
URL : <http://www.tomitaj.co.jp>

（お知らせ）

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、
特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出く
ださい。
- 未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■会社の概要（平成28年9月30日現在）

商	号	株式会社トミタ
創	業	明治44年5月1日
設	立	昭和18年4月26日
資	本	金 397,500,000円
事	業	所
	本	社 東京都中央区銀座8-3-10
	本	社 東京都大田区大森中1-18-16
	社	営業統括本部 電話 03 (3765) 1185 (代)
	大	阪 支 店 名古屋支店 静岡営業所 栃木営業所
	神	奈 川 営業所 北陸営業所 埼玉営業所 茨城営業所
	中	国 営業所 山梨事務所 四国事務所 東北事務所

■役員の状況（平成28年9月30日現在）

取締役社長	富 田 薫
専務取締役	田 中 弘 伸
常務取締役	三 井 信 陽
取締役〔営業統括本部長〕	富 田 稔
取締役〔営業統括本部副本部長〕	樋 口 勝 幸
取締役〔名古屋支店長〕	木 下 武
取締役〔営業統括本部副本部長兼海外営業部長〕	八 柳 方 彦
取締役〔総 務 部 長〕	中 村 龍 二
取締役〔中部・西日本営業部長兼大阪支店長〕	栗 田 純 夫
取締役〔東 日 本 営 業 部 長〕	樺 木 徹
常勤監査役	小 川 友 明
社外監査役	植 元 巽
社外監査役	土 師 良 一

■関係会社

- 株式会社トミタファミリー
- 株式会社ツールメールクラブ
- TOMITA U.S.A.,INC. (OHIO)
- TOMITA U.S.A.,INC. (ALABAMA)
- TOMITA U.S.A.,INC. (INDIANA)
- TOMITA U.K.,LTD. (OXON)
- TOMITA U.K.,LTD. (DURHAM)
- TOMITA ASIA CO.,LTD. (BANGKOK)
- TOMITA ASIA CO.,LTD. (CHONBURI)
- TOMITA CANADA,INC. (ONTARIO)
- 广州富田貿易有限公司 (GUANGZHOU)
- PT.TOMITA INDONESIA (BEKASI)
- VIETNAM TOMITA CO.,LTD. (HANOI)
- TOMITA MEXICO,S.DE R.L.DE C.V. (LEÓN)
- TOMITA MEXICO,S.DE R.L.DE C.V. (QUERETARO)
- TOMITA INDIA PVT.LTD. (GURGAON)

株式会社トミタ
東京都中央区銀座8-3-10